

新製品

CORONA-i XT-420 コロナ放電試験機

XT-420コロナ放電試験機は正位相と逆位相の高周波・高電圧を同時に印加して、2相出力の被測定トランスを一度に試験します。



概要

- トランスやモーター、コイル、コネクター、電線、絶縁材等の絶縁強度試験が出来ます。
- 高周波電圧を正位相と逆位相同時に出力するので、液晶テレビのバックライトトランスで多い2 in 1トランスや4 in 1トランスの絶縁強度を短時間で、より正確に試験します。
- 火花放電とコロナ放電の検出機能を持つので非破壊試験が可能です。

特徴

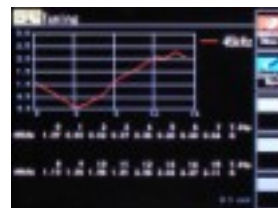
- 1 高電圧発生トランス内蔵**
プローブボックスに内蔵する特製トランスが、高電圧(正/逆5kVrms)、高周波(30kHz~100kHz)を発生します。
- 2 インピーダンスチューニング**
測定するトランスやコイルそれぞれのインピーダンス特性を測定し、試験に最適なインピーダンスをプローブボックス内で設定します。
- 3 多彩な機能を簡単に操作**
5.7インチのグラフィック液晶ディスプレイにより試験内容や測定値が読み易くなりました。液晶ディスプレイの右にあるソフトキーと操作ダイヤルによって多彩な機能を簡単に操作でき、アイコン表示と合わせて直感的に操作出来ます。



- 4 メモリー機能**
100個の試験条件を保存できます。

動作モード

- (1) マニュアル測定**
HV 出力電圧を手動で調節し、その時のHV 電圧、電流、コロナ放電、火花放電等をモニタ表示します。それぞれ設定の上限値を超えると停止します。
- (2) オート測定**
設定された電圧を指定時間印加し、HV 電圧、電流、コロナ放電、火花放電等が規定範囲内にあるか判定します。
- (3) コロナサーチ**
コロナ放電が始まる電圧を調べます。
- (4) チューニング**
トランスやコイルに印加する際の周波数とインピーダンスのマッチングを計り、他の測定をする際の最適条件を算出します。
- (5) 自己診断**
電圧発生、コロナ放電検出、火花放電検出、それぞれの機能が正常に動作するかを自己診断します。



モニター端子

HV1, HV2, Corona, Flash Over,
Drive Voltage, Sync.out

電源コネクタ

AC100V 以外に AC220V の製品も製作可能。



リモート端子

外部スイッチによりスタート/ストップ
の制御が可能。

RS-232C 端子

パソコンからメモリー内容の読み
書きと、各種測定を実行可能。

主な仕様

- 試験電圧 正/逆 5kVrms (無負荷時) 直列接続時 10kVrms
- 試験周波数 30kHz ~ 100kHz 1kHz ステップで選択可能
- 試験波形 連続サイン波
- 出力インダクタンス 77mH ±20%
- デイスプレー表示 Corona Count 0 ~ 127 Flashover Count 0 ~ 127
High Voltage 0 ~ 5kVrms 等
- モニタ出力 Corona, Flashover, High Voltage 等
- HV出力 Auto/Manual
- 外形寸法 本体 : 大きさ 430(W) × 470(D) × 180(H) mm 質量 20kg
プローブ : 大きさ 240(W) × 290(D) × 130(H) mm 質量 5.5kg
- 電源電圧 AC 100V、AC 220V (選択) ±10%
- 価格 @ 1,550,000 円 (消費税別途請求)

アドフォクス株式会社

〒198-0036 東京都青梅市河辺町 10-6-1
トミタワー7F
TEL:0428-24-6042 FAX:0428-24-6069
<http://www.adphox.co.jp>
adphox@aaa.email.ne.jp

販売代理店